学校番号	１０６

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選　古典Ｂ　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	必携～古文単語と一緒に学ぶ～これからの古典文法　改訂版（尚文出版） 精選漢文（尚文出版） 精選漢文ノート（尚文出版） 核心古文単語 351（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。
・グループごとでの古典作品の解釈やテーマを定めた発表・演習などを行って、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらに向上させましょう。
・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。
　さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

2　学習の到達目標

・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考えを豊かにする。
・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材: 『枕草子』 「上にさぶらふ御猫は」	○			◎	○	a: 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史伝	教材: 『史記』 「荊軻」	○			◎	○	a:人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d:主人公の人物像を把握するとともに、同時代に生きた人物について理解する。 e:漢文の句法を理解する。 作品の時代背景を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	物語	教材: 『源氏物語』 「須磨」	○			◎	○	a:「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d:登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e:読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	物語	教材: 『源氏物語』 「若菜上」	○			◎	○	a:「源氏物語」全体におけるこの巻の位置づけや作品の全体像の理解に努め、作品の主題や物語文学における本作品の位置づけを理解しようとする。 d:人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e:読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	日記	教材: 『和泉式部日記』 「薫る香に」	○			◎	○	a:日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。 d:和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	思想	教材: 『老子』 「小国寡民」 『荘子』 「混沌」	○			◎	○	a:老荘思想の概要について、諸子百家における位置づけを含めて理解しようとする。 d:それぞれの話がどのような事を意味しているかを理解し、老荘思想の現代における意義を考察する。 e:漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
三学期	歴史物語	教材: 『大鏡』 「肝だめし」	○			◎	○	a: 歴史物語の文学的位置づけをふまえて、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。 d:歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取る。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論	教材: 『無名抄』 「おもて歌」	○			◎	○	a:歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取ろうとする。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e:歌論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 e:文法知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。